

平成30年度 分科会施策の管理シート

分科会名	いきいき世代づくり分科会	会長	金光 俊尚
------	--------------	----	-------

重点項目	地域・職域で取り組むこころの健康づくり	数値目標	【達成時期】 平成36年度 【目標値】 自殺死亡率(対人口10万人)16.1	分科会事務局	健康医療課
------	---------------------	------	-------------------------------------------	--------	-------

期 初(前年度末まで)	期 中(~9月)		期 末(~2月)…進捗・評価は見込で可		次年度へ		
	分科会事務局	分科会の意見	分科会事務局	分科会の評価			
【施策名・概要】 【実行する内容】 いつ、何を、どのように 等	選定した理由 どのような必要性に基づくのか 等	目指す成果 施策を実行した結果、どういった成果が現れる(水準、状態等を数値で)、その検証方法 等	施策の進捗状況	見直し、課題、助言等の内容	実績及び成果に係る自己評価 評価	達成度・成果について 評価	課題、進捗管理継続の要否等
1 こころの健康づくりの推進 ・事業場におけるメンタルヘルス・ケアの推進 事業場に出向き、健康教育を実施 管理監督者研修会の継続実施 ・メンタルヘルスサポーター養成研修会の継続実施 市民対象に実施	働き盛りの男性の自殺死亡者が多い。 若年層の死因の1位は自殺であり、原因を見ると健康問題、勤務問題が多い。 働き盛り世代への自殺対策が必要である。	○事業場におけるメンタルヘルス・ケアの周知啓発 12か所以上 ○管理監督者研修会の継続実施 参加者70名以上 ○メンタルサポーター養成研修会 修了者数70人					
2							
3							
4							
5							

- (注意事項)
- ① 重点項目ごとに、必ず管理シート1枚以内にまとめること(進捗管理する施策の選択等)。
施策の選択の際は、重点項目の目標達成にどの程度貢献するのかも考慮すること。
 - ② 目指す成果の項目には、量的把握が可能なものは全て計量化・数値化することとし、不可能なものについても、望ましい状態や 結果、目標が達成された場合の状態等を具体的に明示すること。
 - ③ 達成度・成果の評価においては、施策の実行に当たってのプロセスも考慮し、総合的な視点から判断を行なうこと。
評価の基準については、別紙の「施策の実績・盛夏に係る評価の基準」を参考にすること。
 - ④ 各施策の詳細(具体的な取組等)について、別に資料を添付しても良いこと。

特記事項	
------	--